

# 7月市長定例記者会見要旨

と き 平成30年7月2日（月）15時～16時

ところ 庁議室

## 1 第2次佐伯市総合計画の策定について

佐伯市総合計画は、今後10年間の佐伯市のグランドデザインとしての役割を担うものであり、本市を取り巻く様々な課題を乗り越え、「今こそ、市民一丸となり、さいき創生の夢を実現させよう」という新たな航海図となる。

計画の策定に当たっては、市民会議等を開催し、素案作成段階から多くの市民意見を反映し、まさに市民と共に創りあげた総合計画となった。

基本政策に「さいき7つの創生」を掲げ、①自然・生活環境、②生活基盤、③保健医療福祉、④教育文化、⑤産業振興、⑥まちづくり、⑦地域活性化の各分野において施策を推進し、『地域が輝く「佐伯がいちばん」の人・まちづくり』を、市民と共に進めていくものとなっている。

### (1) 計画の構成

基本構想と基本計画の2部構成となっている。

基本構想 … まちづくりの全般にわたる基本事項を明らかにしたもの

基本計画 … 各施策の「現状と課題」「これからの基本方針」「主な取組」「目標指標」を示したもの

### (2) 計画期間

基本構想 … 平成30年度から平成39年度まで 10年間

基本計画 … 平成30年度から平成34年度まで 5年間

### (3) 計画の推進

PDCAマネジメントサイクルによる進捗管理を毎年度行い、その結果を市民に公表し、次年度以降の計画に反映していく。

### (4) 計画の周知

市立図書館、各地区公民館へ備え置くほか、概要版を全世帯に配布する。あわせて、市報、ホームページに掲載する。

## 2 「食育活動表彰」のダブル受賞について

平成30年度「第2回食育活動表彰」で、本市で食育活動に取り組む「佐伯市食育推進会議」が教育関係者・事業者部門で農林水産大臣賞を受賞。「SKO48(佐伯・菌ちゃん野菜・応援団)」がボランティア部門で消費・安全局長賞を受賞した。

今年度の表彰では、教育関係者・事業者部門で12団体、ボランティア部門で9団体が受賞。佐伯市は、2団体はその活動が高く評価され、ダブル受賞となった。

6月23日から大分市で開催された第13回食育推進全国大会で食育活動表彰式が行われ、2団体へ表彰状が贈られた。その後の食育発表会において、農林水産大臣賞を受賞した佐伯市食育推進会議が活動発表し、大会参加者からあらためて好評を得た。

受賞の概要は次のとおり。

### (1) 教育関係者・事業者部門 地方公共団体の部 農林水産大臣賞

佐伯市食育推進会議 : 染矢弘子会長 22人

#### 【取組名称】

『九州最大の過疎のまちが挑む！～心の食育で人づくりと地域づくりを～』

#### 【活動の概要】

市全域が過疎地域に指定されている佐伯市で、山海の幸に恵まれた地域の特色を見つめ直し、地域の強みである「食」を通じた人材育成と地域振興への取り組み

### (2) ボランティア部門 食育推進ボランティアの部 消費・安全局長賞

SKO48(佐伯・菌ちゃん野菜・応援団) : 御手洗健治会長 10人

#### 【取組名称】

『菌ちゃんは世界を守るヒーローだ！～いのちが循環(めぐる)、笑顔の食農活動～』

#### 【活動の概要】

健康や環境を整える菌、農を支える土作りに不可欠な菌の存在を、環境を意識した有機農業や食農実践から市民に体感してもらおうと活動を進めている

※受賞2団体の取組内容は、別添資料「食育活動取組資料」参照

## 3 大手前まちづくり交流館(仮称)名称募集等について

### (1) 大手前まちづくり交流館(仮称)名称募集

平成30年(2018年)4月に建設工事に着手し、現在「大手前まちづくり交流館」と仮称で呼んでいる複合施設の正式名称を募集する。2020年秋のオープン予定。

① 趣旨

施設に対して、子どもから高齢者まであらゆる人に愛着・親近感を持ってもらうとともに、知名度向上を目的として施設名称を一般募集により付与する。

② 募集期間

7月2日（月） から 8月16日（木） 17時 まで

③ 賞品 ※採用作品1点

賞金 10 万円と開館記念イベント無料招待券

※募集の詳細は、別添資料「募集要領」参照

(2) 「大手前新聞」の創刊について

7月1日に「大手前新聞」を創刊した。新聞は毎月1日に発行し、交流館開館に向けた進捗状況等をお知らせすることで、市民の施設に対する関心や期待感を高めていく。

## 4 ベトナム人研修生の受け入れについて

インバウンドの取組強化の一環として、(一社)佐伯市観光協会において株式会社H I S（総合旅行会社）ベトナム職員の研修の受け入れを行う。

ベトナムは、親日度世界ナンバー1の国（ジャパンプランド調査）で、訪日ベトナム客数は平成29年308,900人、前年比32.1%の伸びとなっている。

経済成長著しいベトナムからの誘客を図るため、研修生にはベトナム人向けの魅力発掘や情報発信、商材発掘等に取り組んでもらう。

また、佐伯市では製造業で多くのベトナム人も外国人技能実習生として働いており、交流することで更なる情報発信が期待される。

(1) 研修受入先 (一社) 佐伯市観光協会

(2) 主な業務内容

- ① ベトナム人向けの魅力の発掘や情報の発信
- ② 市の既存パンフレット等のベトナム語翻訳
- ③ 市内観光素材のベトナム人向けの商材発掘
- ④ ツアー受け入れの際に物産展でのベトナム語での物産案内の作成

(3) 研修受入期間

- ① 7月3日～9月3日 (1名) 研修生：タ・ティ・ホアさん 女性 28歳  
② 8月30日～10月29日 (1名) 研修生：未定

(4) その他

7月3日 16時～ 佐伯市観光協会辞令交付式 (庁議室)

## 5 平成30年度がんばる里・浦地域活力向上事業について

「佐伯市がんばる里・浦地域活力向上事業」の平成30年度の募集に対し、10事業者からの提案があり、審査の結果7事業を補助対象事業として決定した。この事業は、平成29年度から新規事業として実施し、今年度で2年目。

(1) 事業説明

市内周辺部地域（合併前の旧町村）の活性化を図るため、地域資源の活用、地域課題の解消等に取り組む事業に要する経費の一部に対し、補助金を交付する公募型の補助事業。

**【補助対象とする事業】**

対象地域においての地域資源の活用又は地域課題を解消する取組が、次の事項を目的としたもの。

- ・ 補助対象地域の経済の活性化
- ・ 交流人口又は定住人口の増加
- ・ 地域コミュニティの強化
- ・ 社会福祉の向上
- ・ その他の地域活力を高めることを目的としたもの

(2) 対象事業者

- ・ よのうづ国際交流の会
- ・ 本匠生活改善愛の里グループ
- ・ 蒲江観光創生協議会
- ・ 南部地域苗木生産協議会
- ・ ファミリーショップ日高
- ・ 有限会社たかはし
- ・ インタースクール弥生

(3) 実施事業費総額、補助金総額 ※見込み

事業費総額 15,982,410円 補助金総額 11,925,000円

※平成30年度補助対象事業は、別添資料「平成30年度採択事業一覧」参照

## 6 佐伯市立小中学校等の学習環境整備について

佐伯市では、児童生徒等が健康で快適に学習できる環境を整えるため、市立幼稚園・小中学校の空調設備整備を行っている。

また、平成31年度からは10年間かけて順次トイレ洋式化を計画している。

### (1) 空調設備の整備状況について

小中学校の整備については、平成29年度で終了。幼稚園については、平成30年度で3園、平成31年度以降に残り7園の整備を予定

|                              | 幼稚園 (15) | 小学校 (19) | 中学校 (12) | 事業費 (円)     |
|------------------------------|----------|----------|----------|-------------|
| 平成27年度                       | 2        | 3        |          | 62,455,320  |
| 28年度                         |          |          | 11       | 167,648,193 |
| 29年度                         |          | 13       |          | 247,155,382 |
| 30年度(予定)                     | 3        |          |          |             |
| 平成29年度までの建設、<br>大規模改造事業により整備 | 3        | 3        | 1        |             |

### (2) トイレ改修事業（洋式化）計画

既に整備済みの幼稚園（5）、小学校（2）があるが、昨今の生活様式の変化を踏まえたときにトイレ環境の改善が必要であることから、平成31年度からの10年間での市内小中学校等の洋式化を計画した。

単位：園、校

|        | 幼稚園 | 小学校 | 中学校 | 計 |      | 幼稚園 | 小学校 | 中学校 | 計  |
|--------|-----|-----|-----|---|------|-----|-----|-----|----|
| 平成31年度 |     |     | 2   | 2 | 37年度 |     | 2   | 2   | 4  |
| 32年度   | 3   | 3   |     | 6 | 38年度 | 1   | 2   | 2   | 5  |
| 33年度   |     | 1   | 2   | 3 | 39年度 | 2   | 2   |     | 4  |
| 34年度   | 2   | 4   |     | 6 | 40年度 |     |     | 1   | 1  |
| 35年度   | 2   | 2   |     | 4 |      |     |     |     |    |
| 36年度   |     | 1   | 3   | 4 | 合計   | 10  | 17  | 12  | 39 |

※既に整備済みの幼稚園、学校は除く

総事業費：約1億2,700万円

## 7 ブロック塀緊急点検について

大阪府北部を震源とする地震でのブロック塀倒壊事故を受け、本市所有の公共施設敷地内におけるブロック塀緊急点検を実施した。

点検による危険なブロック塀の状況は、次のとおり。

(1) 市立小中学校

|          | 塀設置校数 | 危険塀のある校数 | 危険塀の数 |
|----------|-------|----------|-------|
| 小学校 (19) | 8     | 1 (佐伯東)  | 1     |
| 中学校 (12) | 2     | なし       | なし    |

(2) その他の公共施設

H30.6.29 現在

|                   | 塀設置施設数 | 危険塀のある施設数 | 危険塀の数 |
|-------------------|--------|-----------|-------|
| その他の公共施設<br>(737) | 53     | 26        | 37    |

(3) 対 応

小学校の塀については、高さ 140 センチメートルの塀の上部をブロック 2 段分撤去し、控壁により補強する。現在、塀の周囲を近づけないよう囲い、児童らにはブロック塀に近づかないよう指導している。

その他の公共施設については、早急な撤去・修繕が必要であるか詳細調査を行っており、調査結果を踏まえ今後の対応について判断して行きたい。また、塀の周囲を近づけないよう囲い、施設利用者らにブロック塀に近づかないよう注意喚起している。

(4) その他

住民が危険なブロック塀を撤去する場合、その撤去費用の一部を助成する制度の新設を検討している。

※ 危険なブロック塀とは

次の事項に該当するもの等をいう。

- ・高さが 2.2 メートルを超える。
- ・高さが 1.2 メートルを超えているが控壁がない。
- ・基礎がない、又は基礎の根入れが不足している。
- ・傾斜、ぐらつきがある。